

白人の弱点

村上です、

今日は『白人の弱点』についてお話しします。

そうです、

白人の弱点です

私はこれまで日本人が白人に勝つのは不可能だとお伝えしてきました。

ビジネスにおいても男女関係においても政治においても日本人は白人の優位に立つ事が出来ないと断言してきました。

悲しいですがこれは事実だと思えます。

しかし、完璧に見える白人にも一つだけ致命的な弱みがある事が判明しました。

そうです、彼らにも弱点があったのです。

『ある』心理的な側面を集中的に攻めれば
白人たちは私たち日本人に逆らう気力を失い
従順な下僕になってしまう、そんな方法が
存在したのです。

Mr.Xが自らの体験を元に教えてくれました。

~~~~~

## **Mr.Xの興味深いエピソード**

~~~~~

Mr.Xは10代の頃から世界中を旅しています。

一カ所に留まらず数十日から数ヶ月の単位で
国を転々と移動し生活しています。

すでにこれまで100ヶ国以上の国で暮らした
経験があるそうです。

毎月のように世界中を転々とする生活は
羨ましい気もしますが私たちの想像以上に
大変な事も多いように思います。

私が一番信じられないのはMr.Xが毎月のように

国境をまたいでいる事です。

当然ですが国と国を移動する際には必ず『税関』を通過する必要があります。

そうです、

私が数年前、愛する家族の前で白人に弄ばれ劣等感を植え付けられたあの『税関』です。

外国語が出来ない人間にとっては恐ろしい難所です。

しかしMr.Xはその税関を毎回『信じられない方法』で通り抜けます。

なんとMr.Xは...

税関の外国人を洗脳

するのです。

空港で厳しい入出国の管理をしている税関の外国人を短時間で『都合の良い人間』に仕立て上げ、難なく入出国を行っているのです。

ここで、1つ疑問が生じると思います。

「なぜMr.Xさんはわざわざ税関の人間を洗脳する必要があるのでしょうか？」

「普通に通過すれば良いのではないのでしょうか？」

という意見があると思いますので説明しておきますが彼が税関で洗脳テクニックを使用する理由は1つです。

危険な物体を 持ち込んでいるからです

洗脳テクニックを使用しないで入国しようとするれば入国拒否や別室送りになってしまったり、最悪の場合は逮捕や強制送還を命令される可能性の高い代物を持ち運んでいるからなのです。

「危険な物体とは何でしょうか？Mr.Xさんは何かのシンジゲートに所属する犯罪者なのでしょうか？」

という感じてしまった人もいるかもしれませんが彼は犯罪者ではありません。

彼が持ち運ぶ危険な物体とは拳銃や麻薬など人を傷つけるような代物ではありません。

彼が持ち込む危険な物体とは...

『多額の現金』と『薬草』

なのです。

彼が自分のライフスタイルを貫く為にはどうしても現金と薬草だけは各国の法律に逆らっても自分の手で持ち運ぶ必要があるのです。

Mr.Xの月額定価50万円のプログラムに参加している方はすでにご存知だと思いますが、彼は銀行という機関を全く信用していません。

日本人が銀行にお金を預けて安心している感覚が全く理解できないと言います。

そのため彼は稼いだお金は銀行に一切預けず独自の方法で資産運用や資金管理を行っています。
(株の資産運用は証券会社を使用していますが)

1億円を稼ぐよりも1億円を移動する方が 何百倍も大変です

と彼はいつも言います。

彼は銀行を一切使用しないので彼のセミナーへ参加する場合はすべて『現金手渡し』になります。

1年前、私や伊勢さんも参加した東南アジアのセミナーでも数千万円という金額は現金払いでした。

私たちもMr.Xの元まで数千万円の現金を運ぶのにかなりの苦勞をしました。

しかし彼はセミナー参加者全員分の現金を銀行に預けず『ある』国まで運ぶので想像を遥かに超えるような困難があると思います。

このようにMr.Xは銀行という機関を信用していないので数千万円単位の札束を持って国境をまたぐ必要があるのです。

時には、

数億円の札束

をリュックサックに詰め込んで入出国する事もあるそうです。

また彼が持ち運ぶ非合法的な物体は現金だけではありません。

薬草です。

彼はすでに世界でもトップクラスの薬草の知識を持ち合わせておりガンやエイズや多発性硬化症など現代では『不治の病』と呼ばれる病気でさえも治してしまう独自の調合テクニックを構築しています。

そのため彼が愛用している薬草はかなり特殊で一般の流通では手に入れる事のできない種類の植物が複数あります。

Mr.Xは原則的に旅先ですべての生活必需品を調達しますが薬草だけは入手困難な代物が多いため毎回移動の度に持ち運ぶ事になります。

「60キロの重さを超えている」と言っていたので

かなりのボリュームだと思います。

彼が持ち運ぶ薬草には様々な形状があります。

乾燥させた物

液状に抽出した物

粉末の状態になった物

生きたままの花や草や根

など、一見したら怪しい形状をした植物も
たくさんあります。

国によっては持ち込み禁止の植物もあります。

**そんな大量の怪しい植物を持ち込む人間がいたら
税関の職員は当然のごとく引き止めます。**

税関の職員としては当然の行為です。

なぜなら大量の薬草に紛れこませて

違法な薬物を持ち運んでいる

可能性だって考えられるからです。

大量の植物、大量の札束を持った人間なんて絶対に自分達の国に入国させる訳にはいきません。

どう考えても危険人物です。

数ヶ月前もある発展途上国からアメリカに入国した際税関のアメリカ人に引き止められたそうです。

大量の植物を発見した税関のアメリカ人女性は恐ろしい形相になり必死でMr.Xを問いつめようとしします。

「これは何ですか？」 「違法ではないのですか？」 と彼を執拗に質問攻めにするのは。

後で聞いた話によると、通常なら没収が義務づけられている特殊な種類の植物も携帯していたそうです。

私ならこの時点でパニックで挙動不審になり白人の言うがままに没収されるか、もしくは入国を拒否されるかのどちらかだったと思います。

しかし、Mr.Xは違います。

数分間、アメリカ人の税関職員と小さな声で囁くように会話をし、そのまま何事もなかったかのように

入国を許可されたのです。

数分間、彼が一体どんな会話をしたのか？

そうです、

洗脳したのです

アメリカ人女性を数分間の会話で洗脳したのです。

アメリカ人女性職員を心理操作し、都合の良い人間に仕立て上げ、何事もなかったかのように通過したのです！

しかも興味深いのは、その後すぐそのアメリカ人女性が駆け足でMr.Xの後を追いかけてきて彼に...

私に植物を売って下さい

とお願いし始めたそうです。

....

彼はわずか数分間に『洗脳会話』を行ったのです。

たったの数分間でアメリカ人女性を心理操作し完全にコントロールしてしまったのです。

通常ならMr.Xを引き止め、薬草を没収する立場にあるはずの税関のアメリカ人が逆に薬草を売ってくれるよう彼に求めた始めたです。

私からしてみたら奇跡としか表現できないような状況ですが彼によってはこのようなケースは一度や二度ではないそうです。

Mr.Xにとっては『よくある話』なのです。

私はこのエピソードを聞いて深く感動しました。

私は税関の白人に虐められ男としての尊厳を踏みにじられる事しかできなかったのに彼は洗脳してしかも相手から信頼と尊敬を勝ち取ったのです。

本当に、羨ましいと思いました。

この話を聞いて子供のように、

私：「羨ましいです！どんな会話をしたのですか？」

と言っている私にMr.Xはこう言いました。

Mr.X：「村上さん、ポイントさえ押さえれば
相手を洗脳するのは難しい事ではありません。
しかも実は...

白人は世界で最も 洗脳しやすい人種

なのです」

...そう言いました。

ヨーロッパやアメリカなど白人が世界で最も
心理操作するのが簡単だと言うのです。

その一番の理由は『過信』だそうです。

彼ら白人は生まれたその瞬間からナンバー1の
人種だと言われ続けて育てられます。

世界中のどの国に言っても世界最高の人種だと
評価され続けています。

そんな教育を受け続けた人間はどうか？

いつしか奢り自惚れ「自分達こそが最も尊い人種だ」と勘違いするようになります。

しかしその自惚れこそが彼らの急所となります。

彼らは日常生活において上から攻めてくる敵がいないので油断しきっています。

攻撃されないと思い込んでいるのです。

そのため洗脳や心理操作をしてくる人間がいてもそのテクニックに気が付く事すらできず無防備にすべてを受け入れ、知らぬ間に洗脳されてしまうのです。

対処する術を知らないのです。

しかもこの洗脳会話は日本人が使用するとさらに大きな効果があるのです。

なぜなら白人は私たち日本人を完全に見下しているからです。

毎回お決まりの『ごますり』の会話しかできない

マニュアル人間だと思い込んでいるからです。

彼らの脳内には日本人が

『洗脳を目的とする会話』

を使用できるとはインプットされていないのです。

ですので私たち日本人が洗脳会話を使用すれば
彼ら白人はなす術も無く催眠状態に陥ります。

**私たちはその際に相手を洗脳する単語をいくつか
忍ばせておくだけで良いのです。**

数分の会話で立場が完全に逆転し都合良く
コントロールする事ができるようになるのです。

そうです、今日の一番のテーマである白人の弱点とは...

洗脳を目的とした 会話をを行う日本人

なのです。

...しかし、私はこの話を聞いて1つの不安が
生まれました。

**それは、洗脳を目的とした会話をする為には
外国語を使いこなす必要があると思ったのです。**

当然、相手は外国人なので日本語が通じません。

ですので日本語で洗脳したとしても効果が
無いのではないかと思ったのです。

アメリカ人が相手なら英語、
中国人が相手なら中国語、
ウズベキスタン人が相手ならウズベク語、

結局これらの外国語をマスターしなければ
どんなにテクニックを覚えた所で、相手の
優位に立つのは不可能ではないかと思ったのです。

そこでMr.Xに...

**村上：「相手を洗脳する為には、やはり外国語を
覚える必要があるのでしょうか？」**

と質問しました。

答えは...

「YES」

でした。

...私は意気消沈しました。

「結局、外国語を話せない自分には手の届かない話だったんだ...」

と。

しかしその後続いた彼のセリフに驚きました。

Mr.X：「村上さん、落ち込む必要はありません。
外国語はコツさえつかめば本当に簡単に覚えられます。

**しかも相手を洗脳する事にフォーカスした会話は
実は普通の日常会話より簡単な語学力で十分なのです。**

コピーやマーケティングを覚える何十倍も簡単に
マスターする事ができますよ」

...私は驚愕しました。

村上：「Mr.Xは簡単と言いますが、それは世界中を旅しているMr.Xだから出来る事であって僕のような頭の悪い学歴の低い人間には無理だと思います。

なぜなら、これまでも何十種類も英語教材を勉強してきましたが少しも英語が話せるようにならないんです。こんな人間では無理だと思います」

と言いました。

Mr.Xは十代の頃から世界中を旅しているので日本だけに住んでいる私とは才能も環境も異なると思ったのです。

するとMr.Xは落ち着いた声でこう言いました。

Mr.X：「村上さん...語学の習得について誤解している事がたくさんありそうですね。

多くの人は語学学習という物をひとくくりにして認識していますが、実は会話の目的が異なれば学習方法も180度変わってくるのです。

例えば、普通の日常会話ができるようになる為の語学を身につける為には、それ独自の学習方法や

トピック、単語、パターン、タイミングが存在します。

逆に日常会話ではなく、『洗脳会話』を目的とした会話ができるようになる語学を身につけるには、また異なる学習方法、トピック、単語、パターン、タイミング、そして声のトーンが存在するのです。

多くの人が語学をマスターできないのは最終目的をしっかりと理解していないからだと思います。

-一般市民と単なる日常会話ができるようになりたいのか？

-大学でディベートを行い他人と議論を交わす事ができるようになりたいのか？

-何かの専門分野のテーマで教壇にたち生徒に教える事ができるようになりたいのか？

-短時間で白人を洗脳する事だけに特化したいのか？

目的が異なるとそれぞれ学習方法は変化するのです。

ちなみにですが『洗脳会話』の語学力を身につけるのが最も簡単な事なのです。

『ある』メソッドを使えば、の話ですが。」

村上：「あるメソッド...ですか？」

Mr.X：「そうです、メソッドです。

大切なのは完璧なメソッドを使用して短時間で効率よく語学をマスターする事なのです。

しかも村上さんは日本語をマスターしている日本語のネイティブですよ？

日本語は世界中のあらゆる言語の中で最も難しい部類の1つに入ります。

日本語をマスターできた村上さんなら正しいメソッドさえ暗記してしまえば世界中のどの国の言語でも短期間で必ずマスターする事ができます」

村上：「どの国の言語でも、ですか？」

Mr.X：「そうです、世界中のどの国の言語でも必ず短期間でマスターできます。

カウントの仕方によっても異なりますが現在世界には5000～10000種類の言語が存在していると言われていています。

英語、カヤルディルド語、ヴォティック語、ベンガル語、アゼルバイジャン語、ウルドゥー語、ウイグル語...

世界中にはたくさんの言語数が存在しますよね？

しかしそれがどの国の言語であっても
『ある』メソッドさえ覚えてしまえば
60日もあればマスターする事ができます」

村上：「60日ですか？」

Mr.X：「そうです、正確には『60日以内』にです」

60日で世界中の どの言語でもマスターできる

と言われて少しうれしくなったのですが
同時にまだ信じられない気持ちもありました。

そこでMr.Xにこう言いました。

村上：「僕は20歳の時から英語をマスターする為に
ずっと色々な教材を勉強しています。しかし未だに
まともに英語が話せません。。」

すると、Mr.Xは穏やかな口調でこう言いました。

Mr.X：「村上さん、私が他の人や会社の悪口を言うのは好きではない事は知っていると思います。

しかしこのテーマを解りやすく話す為にはどうしても他人を否定するような発言をする必要性が出てきます。

しかし村上さんが悩んでいるので、これだけはハッキリと伝えておきたいのですが...

現在の日本に存在する外国語教材の 99%以上は使い物になりません

ほぼすべての英語教材は勉強するだけ時間とお金の無駄だと思っています。

これは村上さんの大事な時間と労力とお金を無駄して欲しくないなので忠告しておきます」

村上：「Mr.X、私はこれまで外国語の勉強に数百万円のお金を使ってきました。それがすべて無駄だと言うのですか？」

Mr.X：「私はこれまで村上さんがどんなメソッドで勉強してきたのかわかりません。

なので、今まで村上さんが勉強してきた教材のすべてが無駄かどうかはわかりません。

しかし現在の村上さんの状況を見る限りでは正しいメソッドに出会っている可能性は極めて低いと考えています」

村上：「そうですか...でも、Mr.X。僕はどうしても英語をマスターしたいです。

Mr.Xは日本にある99%以上の語学教材が使い物にならないと言いますが、では今後僕は一体何を勉強していけば良いのでしょうか？」

Mr.X：「解りました...

村上さんがそこまで強くお願いするのは珍しいので少しお話する事にします」

...

こう言ってMr.Xはすべてを話してくれました。

**現在の日本に存在する語学教材の99%が無駄な理由、
そして60日で世界中のどの言語でもマスターできる
正しいメソッドについて、すべて公開してくれたのです...**

次回、この秘密をあなたにシェアします。

次のレポートを楽しみに待っていて下さい。

村上むねつぐ